

# 2019年度ニュースリリース配信に伴い 長住協活動が業界誌面で紹介されました

サッシタイムス 6月11日号

日本屋根経済新聞 2019年6月18日

長期使用住宅部材標準化推進協議会（略称：長住協）は、定時総会を開催し、第6期（二〇一八

## CjK部材登録数94品目 第6期中間報告

長住協



中村会長

年5月24日から二〇二〇年3月31日）活動の中間報告を行った。

二〇一八年度の実績では、CjK部材の登録品目に九品目が新たに追加され、計九十四品目となった。

会員数は三洋工業（株）や美和ロック（株）などが新規に賛助会員となり、正会員数二十六社、賛助会員数七十六社となった。

同協議会ホームページには、アルミ樹脂複合引き違いサッシ用引き手、樹脂引き違いサッシ用クレンザーなど四品目が基準書適合部材情報として掲載され、合計四十四品目となった。

同協議会では第6期活動目標として、CjK部材標準化百五品目、会員企業数百二十五社への拡大、CjKマークの表示を増やしCjK部材の普及促進などを掲げており、二〇一九年度は部材・部品の選定・標準化から普及（流通）の推進に引き続き取り組む。

建材ナビ 7月号

### 長期使用住宅部材標準化推進協議会

2020年までにCjK部材の標準化を  
105品目、会員企業数125を実現

長期使用住宅部材標準化推進協議会（略称：長住協＜CjK＞、中村康夫会長）は、第6期（2018年5月24日～2020年3月31日）中間報告の2018年度活動実績及び2019年事業計画を発表した。

活動実績では、審査・承認・登録したCjK部材9品目、新規入会企業賛助会員5社、ホームページでの基準書適合部材情報の掲載4品目などが報告された。

また、2019年度事業計画は、①2020年3月末までにCjK部材の標準化を105品目、会員企業数125の実現。②マーク表示を増やし、CjK部材の普及を促進。③業界団体、DIY業界との連携継続。

## 長住協のCjK 部材94品目に 今年度末105品目へ

ハウスメーカーや建材メーカーらで構成される長期使用住宅部材標準化推進協議会（略称・長住協、中村康夫会長）大和ハウス工業（株）上席執行役員、会員

102社は5月23日、定時総会を東京都千代田区の大和ハウス九段ビルで開催した。それによると、2018年度は長期使用対応部材（CjK部材）として9品目を標準化して合計94品目となった。会員も5社が新たに加入。19年度の事業計画で

は、①2020年3月末までにCjK部材の標準化を105品目、会員企業数を125社にする。②CjK部材のマーク表示を増やして同部材の普及を促進する。③業界団体やDIY業界との連携継続・強化を決めた。

現在、屋根関連では「粘土瓦（F形棧がわら）や「太陽光発電電架台用支持瓦（F形棧がわら）」、「屋根用スレート（平形）」などがCjK部材として登録。

長住協の設立は、経済産業省の提言に基づき住宅部品・部材の標準化推進団体として平成20年7月。



# 長住協活動が業界誌面で紹介されました

ハウジング・トリビューン Vol.580(2019年12号)

業 界 動 向

## 長期使用住宅部材標準化推進協議会

### 第6期目標の部材標準化105品目の達成視野に 認知度向上へ向けた取組みも活発化

長期使用住宅部材標準化推進協議会（長住協）の取り組む長期使用対応部材の標準化が着実に進んでいる。これまでに標準化した部材は94品目（2018年度末）。20年3月末までの約2年で設定した第6期目標（105品目）の達成も見えてきた。

長住協は、大手住宅、建材、住宅設備機器の各メーカーが集まり、住宅を長く住み継ぐために不可欠なメンテナンスを容易にすることを目的に住宅部品・部材の標準化、共通化に10年前から取り組んでいる。

これまでに標準化した部材は94品目。「アルミ・樹脂複合引き違いサッシ用クレセント」から「太陽光発電架台用支持瓦システム（F型棧がわら）」などまで多岐にわたる。18年度は、「外部物干し金具（軒天付け逆T字タイプ）」と「樹脂製たてどい排水管カバー（丸型）」、「浴室出入口戸引き戸片引き仕様用面材（板厚）」、「浴室出入口戸折り戸用面材（板厚）」、「浴室出入口開き戸用面材（板厚）」、「内部洋開き戸用ドアストッパー（外付型）」、「内部ラッチ受け」、「引き違い襖用鴨居・敷居」、「レンジフード（排気専用）」——の9品目を標準化した。「目標に向けて着々と進めている」と長住協は話す。

住宅に使われる部材の数は数万とも十数万とも。その中から標準化できる可能性のある部品を探し出

すだけでも一苦労だ。長住協はアンケートを会員企業や一般の人へメンテナンスの困りごとなどの意見を聞いたりしながら、新たな部材を探し出す作業を地道に行う。メンテナンスの頻度の高い部材など優先順位を付けながら作業に取り組む。部材の標準化までの期間は数カ月のものであれば、4、5年まで長期に及ぶケースも。家電など長住協に参加していない業界との調整を重ねながら標準化に結びつけることもある。

こうした標準化した部材の中には「cjkマーク」＝（写真）のついた製品として、ホームセンターなどに置かれる事もある。「まだま



だ一般消費者への認知度は低い」というのが長住協の認識だ。そこでホームセンターの関係者などが集まる、住まいと暮らしに関する日本最大級の商談会「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW」に出展し、自らの活動を紹介しながら認知度の向上に取り組んでいる。

19年度も、この商談会に出展し活動をPR。18年度にリニューアルしたホームページでCJK部材の表示事例の掲載も推進する。また、DIY協会会員グループと協力し、流通施策も検討する考えだ。そして協議会のメインテーマである部材の標準化については、6期目標で掲げた105品の実現を目指す。現在の会員企業は賛助を含めて102社。125社の実現も掲げている。幹事の住永敏之氏（大和ハウス工業CS推進部担当部長）は「今後も部材の標準化を増やしていくと同時に、今、標準化されているものが本当に有効活用されているのか、ユーザーが恩恵を受けているのかにも着目していかなければならない」と今後の展開を見据えている。



共通部材使用表示事業分科会などで標準化に向けた部材の取組みについて話し合うメンバー

# 長住協活動が業界誌面で紹介されました

積算ポケット手帳 建築編2020 2019/11/30

1ページ／4ページ

## 住宅部材の標準化へ向けた活動 長期使用住宅部材標準化推進協議会

〈取材協力〉

住永敏之／幹事、大和ハウス工業

森敏明／運営委員会委員長、住友林業

津下清志／標準(共通)化評価委員会委員長、積水ハウス 他

建材や住宅設備に使われている部材・部品を交換する際に、問題となるのは規格や形状だ。何十年も前の部材であれば「まだ同じものが生産されているのか」「新しい部材は取り付けられるのか」「同じメーカーでなければ交換できないのか」などの不安も生じる。ここでは、部材交換を容易にするために、関連企業が協力して進めている標準化への取り組みを紹介する。



図1 CjKロゴマーク

長期使用住宅部材標準化推進協議会のロゴマークであり、同協議会が定める長期使用対応部材のシンボルマークとして、カタログや製品の識別などに使われている

### 「困っている部材」から標準化

従来のスクラップ＆ビルド型の社会から、ストック活用型の社会への転換を目指し、長期優良住宅を普及させる「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が施行されてから10年が経過した。ストック活用型とは「いいものをつくって、きちんと手入れをして、長く大切に使う」ことを指す。それを支える環境整備の一つが、長期使用住宅部材標準化推進協議会（長住協）による取り組みだ。

長住協は2008年に設立され、現在は大手住宅メーカーや設備・建材メーカーなど104社が参加。住宅や建材・住宅設備などに関わる部材の共通化・標準化と、それを目的とした調査・研究などを行っている。部材の共通化・標準化は、ストック活用で求められる“手入れ”を推進する。

2011年10月、長期使用対応部材（CjK部材）のシンボルマーク「CjKマーク」（図1）を商標登録し、CjK部材の運用を開始した。

CjKマークはメーカーのパフレットやカタログなどへの表示、製品や部材への刻印やシールで記し、メンテナンスや交換可能な部材の目安となる。

最初に標準化に取り組んだのは、住宅用アルミサッシのクレセントや戸車など5種類の部材。CjK部材の登録は2019年10月現在、97品目となった（図2）。標準(共通)化評価委員会で委員長を務める津下清志氏（積水ハウス）は「ハウスメーカー、建材・設備メーカー、DIY販売店、ユーザーと、住宅関連の川上から川下までアンケートを広く取り、部品交換で困っている頻度の高い品目から標準化に取り組んできました」と話す。

運営委員会委員長の森敏明氏（住友林業）によると「皆さんが困っていることに手を打つのが当協議会の目的です。CjK部材はそのための手段なのです」とその方針を述べた。

CjK部材は、対象となる部材を決定した後、基準書を作成、標準(共通)化評価委員



# 長住協活動が業界誌面で紹介されました

積算ポケット手帳 建築編2020 2019/11/30

2ページ / 4ページ

| CJK部材一覧                       |                               |                              |                            |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|----------------------------|
| 外部部材                          |                               |                              |                            |
| 001 アルミ・樹脂複合引き違いサッシ用クレセント     | 018 アルミ・樹脂複合縦すべり出し窓用カムラッチハンドル | 040 雨戸用落し錠(レールタイプ)           | 062 樹脂製雨樋(たてどい丸型)          |
| 002 アルミ・樹脂複合引き違いサッシ用戸車        | 019 アルミ・樹脂複合横すべり出し窓用カムラッチハンドル | 041 アルミ・樹脂複合上げ下げ窓用クレセント      | 067 樹脂引き違いサッシ用クレセント        |
| 005 屋根用スレート(平形)               | 021 太陽光発電架台用支持瓦(F形椋がわら)       | 042 樹脂複合勝手口ドア用ドアクローザ(水平面取付け) | 071 たてどい用支持具(丸型)           |
| 007 戸建住宅玄関ドア用本締錠              | 022 窓シャッターガイドレール用モヘア(フィンシール無) | 043 樹脂複合勝手口ドア用ドアクローザ(垂直面取付け) | 075 外部物干し金物(腰壁付けボール上下式タイプ) |
| 008 戸建住宅玄関ドア用空錠               | 023 窓シャッターガイドレール用モヘア(フィンシール付) | 048 太陽光発電架台用PV支持材(スレート)      | 076 樹脂上げ下げ窓用クレセント          |
| 009 玄関ドア用ドアクローザ               | 024 金属製バルコニー用連結樹脂製デッキ材        | 052 外部物干し金物(外壁付けタイプ)         | 080 樹脂製たてどい用接続部品(丸型・連結)    |
| 011 サッシ網戸用モヘア                 | 026 アルミ・樹脂複合引き違いサッシ網戸用戸車      | 054 アルミ勝手口ドア用本締錠             | 081 樹脂製たてどい用接続部品(丸型・片側接続)  |
| 012 サッシ網戸用網押さえゴム(突起有)         | 028 太陽光発電架台用PV支持材(F形椋がわら)     | 055 アルミ勝手口ドア用レバーハンドル錠        | 083 樹脂複合勝手口ドア用本締錠          |
| 013 サッシ網戸用網押さえゴム(突起無)         | 029 樹脂複合サッシ用軟質グレイジングチャンネル     | 056 アルミ勝手口ドア用レバーハンドル空錠       | 084 樹脂複合勝手口ドア用レバーハンドル錠     |
| 016 粘土瓦(F形椋がわら)               | 033 窯業系サイディング(さね有り)           | 057 アルミ・樹脂複合FIX窓用ビード         | 085 樹脂複合勝手口ドア用レバーハンドル空錠    |
| 017 雨戸用戸車(レールタイプ)             | 038 外壁用換気口部品                  | 059 外部物干し金物(腰壁付け縦可動タイプ)      | 086 外部物干し金物(軒天付け逆T字タイプ)    |
| 内部部材                          |                               | 060 アルミ・樹脂複合引き違いサッシ用引手       | 089 樹脂製たてどい用排水管カバー(丸型)     |
| 006 内部引き戸用戸車・レール              | 039 サッシ網戸用樹脂製網                | 061 窓シャッター用操作紐(繊維系)          | 095 屋外用たて引きストレーナーキャップ      |
| 010 内部レバーハンドルケース錠             | 030 内部収納可動棚用ダボ                | 050 収納扉用取手(ハンドル)             | 079 内部洋開き戸用ドアストッパー(埋込型)    |
| 014 内部階段・廊下用手すり               | 031 内部折戸用センター丁番               | 051 内部引き戸用吊金具(ソフトクローズ)       | 087 内部洋開き戸用ドアストッパー(外付型)    |
| 015 内部開き戸用調整機能付丁番             | 034 内部洋開き戸(扉厚)                | 058 内部レバーハンドル                | 088 内部ラッチ受け                |
| 020 内部床下収納庫(固定式)              | 035 内部収納棚用棚柱                  | 065 カーテンレール用ランナー             | 094 引き違い襖用鴨居・敷居            |
| 025 内部床下点検口                   | 036 内部収納可動棚用ブラケット             | 066 カーテンレール用キャップストップ         | 096 引き違い障子用鴨居・敷居           |
| 027 内部階段・廊下手すり用ブラケット          | 044 内部木製折戸用吊金具                | 068 内部収納用金属製ハンガーパイプ(丸型)      | 097 引き違い襖・障子用敷居すべり材        |
| 設備部材                          |                               | 045 内部木製折戸用吊金具(アウトセット)       |                            |
| 003 キッチン用湯水混合水栓(台付シングル)       | 049 玄関収納用樹脂製棚板                | 069 内部収納用金属製ハンガーパイプ(楕円型)     |                            |
| 004 キッチン・洗面化粧台用スライド丁番(全かぶせ仕様) | 046 IHクッキングヒーター(ビルトイン)        | 070 内部サムターン座                 |                            |
| 032 温水洗浄便座(シート形)              | 047 ガスコンロ(ビルトイン)              | 072 洗濯機用水栓                   | 082 浴室引戸用戸車(下框用溝無しタイプ)     |
| 037 暖房便座(シート形)                | 053 浴室引戸用戸車(下框用)              | 073 浴室用湯水混合水栓(壁付)            | 090 浴室出入口戸引き戸片引き仕様用面材(板厚)  |
|                               | 063 食器洗い乾燥機(ビルトイン)            | 074 浴室用湯水混合水栓(台付)            | 091 浴室出入口戸折り戸用面材(板厚)       |
|                               | 064 タンク密結形便器(床排水)             | 077 普通便座                     | 092 浴室出入口戸開き戸用面材(板厚)       |
|                               |                               | 078 タンク密結形便器(壁排水)            | 093 レンジフード(排気専用)           |

図2 CJK部材一覧で公開されている97品目(2019年10月現在)

各品目の左側の数字は登録した順を示している(長住協のパンフレットなどから作成)



# 長住協活動が業界誌面で紹介されました

積算ポケット手帳 建築編2020 2019/11/30

3ページ／4ページ

会で協議し、運営委員会で承認されると登録される。標準(共通)化評価委員会の下には品目別等標準(共通)化分科会が設けられ、共通化部材選定、躯体・外装共通化、外装開口部共通化、内装・内部建具共通化、設備共通化の5つに分かれて標準化を進めている。いずれの分科会も「部材を交換することで性能を取り戻せるもの」から標準化を進めてきた。月1回の会合を開き、業界を挙げて積極的に取り組んできた成果を年々積み重ねてきている。

標準化したCjK部材は、同協議会の住宅メーカーなどを中心に積極的に活用することを基本としている。当初に標準化した窓のクレセントは採用率が90%を超えているというから驚きだ。

## 60年間交換に困らない部材を

そもそもCjK部材の目的は、長期にわたってメンテナンスを容易にするために互換性をもたせた部品・部材である。「互換性」とは、例えば、内装ドアのハンドルは日常の使用で摩耗するため、ある程度の期間が過ぎればメンテナンスが必要となる。そこで、取り付けのフロントプレートやバックセットなどの大きさを標準化し、劣化した箇所の部品交換ができるようにするというものだ。

各メーカーで寸法や形状などの仕様が異なっていると廃盤や欠品などで交換部品の入手が難しくなって、修繕しにくくなる。調子が悪いまま使用していれば、日常生活にも支障が出てくるし、事故のおそれも潜む。また、部品交換で済むものが、ドア全体を取り換えることになるコストもかかってしまう。長く大切に使うためには、小さな部品の一つひとつがとても重要となっ

てくる。

CjK部材の耐久性の目安について、幹事を務める住永敏之氏(大和ハウス工業)は「住宅を60年間維持するにあたって、交換に困らないようにすることです」と話す。メンテナンス用の交換部材を長期的に供給できるようにするため、一度標準化を行った部材についても製品開発や市場の状況に応じて見直しを行っている。例えば、最初に標準化した「アルミ・樹脂複合引き違いサッシ用クレセント」は、2009年に承認し、2014年、2016年に改訂を行った。

## 基準書や製品・部材写真を公開

長住協のホームページでは、「CjK部材一覧」を公開している。建物の躯体工事や外装工事に関わる「外部部材」、内装工事で用いる建具をはじめとする各種の「内部部材」、設備工事で用いる水回り関係(台所や洗面所、トイレ、浴室など)で用いる「設備部材」、これら3つのカテゴリー別に掲載し、各部材の基準書がPDF形式でダウンロードできる(図3)。また、図面だけではなく取扱会員企業の製品や部材写真も掲載されているので、より分かりやすくなっている(図4)。

基準書の記載事項には、標準化している寸法や形状のほか、交換時の留意点にも言及し、工務店や施工会社などへの利便性はもちろん、DIYで行う住まい手にも理解できるような平易な解説を心がけているという。

ただし、「住宅部材のなかには、手すりのように専門業者以外でも取り付けやすいような品目もありますが、構造面や安全面を考えると、専門家が交換することを推奨しています」と津下氏。

# 長住協活動が業界誌面で紹介されました

積算ポケット手帳 建築編2020 2019/11/30

4 ページ / 4 ページ

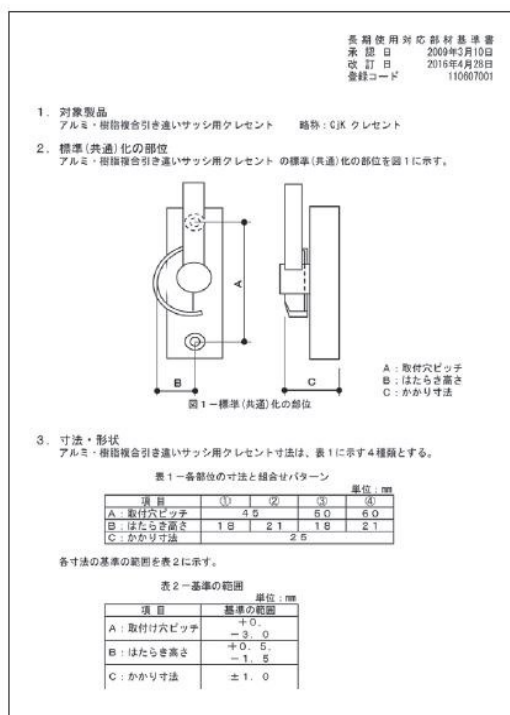


図3 CJK部材の「アルミ・樹脂複合引き違いサッシ用クレセント」の標準書の一部

## 認知向上と業界全体への広がりを

会員企業を中心としたハウスメーカーによる新築住宅ではCJK部材の採用も増え、建材メーカーのカatalogやホームセンターでCJKマークを表示するところも増えてきたという。とはいえ、CJK部材やCJKマークの認知度はまだそれほど高くない。毎年夏に千葉市の幕張メッセで開催される「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW」に出展し、アンケートを取るなどして、住まい手や販売店に向けてCJK部材の認知度向上を目指して広報活動を行っている(図5)。

2019年に行ったアンケートの調査結果によると「部品が壊れてから困った例が多く、事前交換は少ない」ことが分かった。さらに「どこに頼めばよいのか分からない」「寸法が分からない」「部品がどこで買える



図4 長住協ホームページで公開されている「CJK部材一覧」に掲載されている製品写真と取扱会員企業



図5 「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW」で展示したCJK部材やカタログ

のかが分からない」「費用や見積りが適正かが判断できない」といった声も上がっていた。こうした声は「困っていること」を解決する取り組みへの足掛かりとして、今後の標準化する部材や普及活動に活かしていく。

97品目あるCJK部材だが、目標は150品目を掲げている。さらに、長住協で取り扱う部材の分野をもっと広げたいといい、森氏は「認知度向上も課題ですが、このような取り組みは業界全体で取り組んでいくべきだと強く思っています。そのためにもさまざまな立場からの意見や力をお借りしたいので、活動に賛同いただける部材メーカーなどの新規入会を大いに期待しています」と話す。メンテナンスや部材交換を容易にすることは長期優良住宅の基盤づくりであり、住宅業界の総力が必要とされている。